大清水ぶらりマップ

大清水まで
の案内図

車で
鎌田から約３０分
戸倉から約１５分

●大清水

大清水の地名の由来になった流れ。年中を通して、水量・水温はほぼ一定で、大雨の後も濁ることはありません。岩の間を清流が流れ落ちる様子は、まるで日本庭園のよう。古い看板が目印。
（駐車場から戸倉方面に歩いて約5分）

●大清水湿原　～季節の花々を楽しもう～

約2haほどの小さな湿原には、車椅子でも散策を楽しむことができるワイド木道が整備されています。春にはミズバショウ、夏にはニッコウキスゲなど季節の花々を手軽に楽しめます。
散策時間（目安）：20～30分

●巨木の森　～森林浴でリフレッシュ～

一ノ瀬に向かう間の森には、ミズナラ、ハルニレ、トチノキ、カツラなど１１６本もの巨木があります。道の右手側に多く見られるので、見つけてみてください。秋には紅葉も楽しめます。（マップ→）

●名水　～おいしい水を飲みませんか～

平成の名水百選に認定されている「尾瀬片品湧水群」の水がこんこんと流れでています。水を汲みたい方は、山小屋のご主人に声をかけてくださいね。
（大清水小屋、物見小屋前）

●自然保護の原点　～歴史を学ぼう～

昭和４０年代、尾瀬を貫き群馬県と福島県を結ぶ車道の建設計画がありましたが、尾瀬愛好者を中心に自然保護運動が盛んになり、計画は中止されました。大清水から一ノ瀬に向かう途中のトマブドウ沢橋には、その名残として「沼田田島線」と記されています。※沼田は群馬県、田島は福島県の地名
（トマブドウ沢橋までは徒歩で片道約30分）

●鉱山で栄えた場所 ～こんなところに鉱山？～

昭和18年頃まで金･銀を採掘していた根羽沢鉱山があり、最盛期には1000人を超える人々が生活していましたが、今では集落はなく、建物も残っていません。鉱山で働く人たちの宿泊所や、積み出しの中継地として開かれたのが大清水の山小屋の始まりです。
※登山道以外は、管理者（土地所有者）の許可が必要となりますので、立ち入らないでください。

ほっとひと息スポット

大清水小屋
（営業期間）
4月下旬～11月上旬
宿泊（入浴）･食事･喫茶

季節の山の幸が味わえる山菜天丼

物見小屋
（営業期間）
4月下旬～11月上旬
食事･喫茶

片品産トマトのピザと名水コーヒー

大清水休憩所
（営業期間）
4月下旬～11月上旬
食事･喫茶

花豆ソフト

一ノ瀬休憩所
（営業期間）
5月下旬～10月中旬
食事･喫茶

秋限定きのこ汁

※　記載されている内容から変更されることがあります。

このパンフレットは、環境省平成24年度尾瀬国立公園利用適正化推進事業により作成しました。